

回答書

令和2年4月24日 福島ロボットテストフィールド

1 全展示会共通事項について

Q 1 小間内装飾での高さの制限はありますか？

A 1 現時点で各展示会事務局より示されている情報は下記のとおりです。

- ・国際ドローン展及び Japan Robot Week 2. 7m
- ・ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020 2. 4m

※展示会事務局から情報が示されていないため、ロボット・航空宇宙フェスタふくしまのみ、昨年度ベースの数字を入れ込んでおります。

Q 2 ブース内への電源引込工事は受託者施工になりますか？

A 2 施工主体は、受託者と展示会事務局との調整によります。

Q 3 「招待状」のイメージは、会場側が作成する既存の開催チラシ（DM）のようなものでしょうか、またはVIP向けに独自に作成して発送するのでしょうか。

また、招待状の発送部数想定については何部程度でしょうか？

A 3 展示会主催者が作成したチラシを送付していただきます。

合計で640部程度を想定しております。

一展示会あたり、約20カ所（一カ所あたり30部程度）へ送付いただくこととなります。

Q 4 小間内装飾（テーブル等）はレンタルという認識で宜しいでしょうか？

A 4 展示会出展事業の経費の中で、受託者が用意いただくこととなります。

必ずしもレンタルにこだわるものではございません。

Q 5 動画再生用50インチモニターはスタンド付きでしょうか？

A 5 自立させるためのスタンドが付いております。

Q 6 機構所有で、ブースへの掲示を希望するパネル、のぼり旗等は御座いますでしょうか？

A 6 機構で所有する掲示パネルやのぼり旗はありますが、ブースの状況や全体のバランス等を勘案して配置の有無等を判断いたします。

回答書

令和2年4月24日 福島ロボットテストフィールド

Q7 ジオラマの運搬とはどこからどこへの運搬になりますか？

A7 当機構から会場に向けて発送しますので、会場入り口からブースまで運搬いただく想定です。

Q8 ジオラマの台はお持ちでしょうか？また、発送・返送も機構の費用負担という認識で間違いないでしょうか？

A8 ジオラマ台は持ち合わせておりません。

発送に係る費用は機構が負担しますが、返送に係る費用は受託者に負担いただく形を想定しております。

※会場に余ったノベルティやパンフレット等の備品についても同様の取り扱いです。

Q9 各会場へ運搬するパンフレットの数量及び、配布予定数量を教えてください。

A9 効果的な広報の観点からご提案いただければと思います。

国際ドローン展 2,500部程度

JapanRobotWeek 4,000～5,000部程度

ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2,000部程度

当方では、例年ベースで上記のように想定しておりました。

Q10 販促グッズはどのくらいの数を配布する予定でしょうか。

A10 昨年度と同程度の規模を予定しています。(グッズ2種類(ボールペンと不織布バッグ)を各1,000部作成)又は効果的な広報の観点からご提案いただければと思います。

Q11 Japan Robot Week (愛知) は9ブース、ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020 (福島) 6ブースを確保とありますが、1小間ずつ(それぞれ9、6企業分)の装飾デザインをする想定でしょうか、それとも9または6小間分を「1フロア」として使用する想定でしょうか。

回答書

令和2年4月24日 福島ロボットテストフィールド

A11 お示ししている仕様書に記載されているとおり、Japan Robot Week におきましては共同出展を行います。ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020におきましては共同出展を行う予定はございません。

Japan Robot Week では全体に共通の装飾を施し、各共同出展者のスペースを確保（展示机、社名版）。その他の装飾については各出展者が自費で行っていただく想定です。

（参考：昨年度 同規模展示会出展時）

<https://www.fipo.or.jp/robot/news/post-615>

ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020では全体を一つのフロアとして装飾を行っていただく想定です。

（参考：昨年度 同展示会出展時）

<https://www.fipo.or.jp/robot/news/post-564>

※御連絡いただければ個別で当時のブース画像を御提供させていただきます。

Q12 「設営・撤去」とありますが、各主催者手配の業者になる可能性がございますか。

A12 現時点では不明ですが、主催者から業者指定がされる場合も想定されます。

Q13 「面談シート」「来場者アンケート」を実施・集計・報告とありますが、集計は全て当日中に行うのでしょうか、それとも後日まとめて集計・報告という形でもよろしいでしょうか。

また、3展示会でそれぞれどの程度の回収数を想定していらっしゃるでしょうか。

A13 各展示会100件程度を想定しています。基本的には福島ロボットテストフィールド職員が聞き取りを行い、各自メモをとることとなります。商談シートや来場者アンケートはその補足をするものとして想定しております。

集計及び報告につきましては後日で結構です。

2 国際ドローン展に係る事項について

Q14 ブースタイプのコーナー指定はしておりますでしょうか？

A14 コーナー（2面開放）指定を行っております。

回答書

令和2年4月24日 福島ロボットテストフィールド

3 Japan Robot Week に係る事項について

Q15 小間の配置は 8910mm×8910mm の島小間でしょうか？

A15 そのように想定しております。ただ、応募を締め切ってから展示会事務局が調整を行うことになるかと思いますので、正方形の島小間になるかは未定です。

Q16 通訳者の業務ですが、基本的にブース内で来客者への対応になりますか？展示場での商談にも立ち会うようになりますか？

A16 ブースにおいて、当機構職員と来訪者が会話をする際の通訳や、パンフレットやノベルティ配布等について御対応いただく想定しております。

当機構の業務上、商談にまで話が発展することはございませんし、原則として、共同出展者からの依頼には対応不要です。

あくまで当機構職員の補助を行っていただく、という形での動員です。

Q17 共同出展者が持ち込むロボットや部材のスペースは、最大でどのくらい必要となりますか？

A17 共同出展者の募集をまだ行っておりませんので、現時点では未定です。

昨年度においては、基本的には一小間よりも小さいスペースを提供し、割り当てられたスペースでは足りないような機体の展示を希望する場合には、各出展者から受託者へ御相談いただいております。

最終的には各出展者からの希望をもとに受託者がブースレイアウトを作成、当機構が承認、その後、受託者が各団体と連絡調整を行うという流れで業務を進めました。

Q18 県内企業との共同出展については何社位を想定していますか？ また、共同出展者への展示会に関する事務連絡等は、受託者の業務でしょうか？

A18 例年、6、7団体程度と共同出展を行っております。

原則、共同出展者との連絡調整業務は受託者に行っていただきます。

回答書

令和2年4月24日 福島ロボットテストフィールド

Q19 「県内企業と共同出展」とありますが、想定している分野や製品名、企業名等は教えていただけますでしょうか。

A19 現時点で分野や製品、企業を限定又は想定はしていません。

6月から、Japan Robot Week の出展対象であることを条件として広く募集する予定です。

4 ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020に係る事項について

Q20 水槽のサイズに指定は御座いますでしょうか？

A20 特段指定はございません。

参考まで申し上げますと、昨年度は幅約1メートル×奥行50センチメートル×高さ60センチメートルほどの水槽を使用しました。

Q21 小間の配置は8100×5400mmの4面開放の島小間でしょうか？

A21 昨年度につきましては、9,000mm×6,000mmの島小間でした。

今年度も同程度を見込んでおります。

Q22 「来場者が陸海空ロボットそれぞれの操作体験」とありますが、ブースは陸海空の3ブースを作成予定でしょうか。

A22 お見込みのとおりです。

Q23 「ブース内で行う小イベントの開催」とは、セミナー型や体験型などを想定していらっしゃるでしょうか。また、大阪以外の愛知・福島開催のみの実施という認識でよろしいでしょうか。

A23 小イベントの形態に想定はありませんので、自由にご提案ください。

また、ブース内で行う小イベントにつきましては、Japan Robot Week（愛知）でのみ実施を想定しておりますが、ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2020（福島）での小イベント開催を否定するものではありませんので、ご自由に御提案ください。

参考までに申し上げますと、昨年度は共同出展者から希望者を募り、モニターを使って聴衆にプレゼンをしていただきました。